

科学ヘジャンプ・イン・名古屋2019 報告書

— Jump to Science in Nagoya 2019 Report —

<p>概要 日程:2019年11月17日(日)09:30~15:30 会場:愛知県立名古屋盲学校 対象:視覚障害のある小学校3年生以上の小中高生で、科学に興味を持ち、当日のイベントに参加可能な児童・生徒 参加者:29名、保護者・付添い者:34名、外部講師:9名 見学者:13名、スタッフ:56名 主催:科学ヘジャンプ東海地区実行委員会 後援:中部地区盲学校長会、愛知県教育委員会、名古屋市教育委員会</p>	<p>プログラム 09:30~10:00 受付 10:00~10:20 開会の集い 10:30~12:00 ワークショップ I 12:00~12:50 昼食 12:50~13:20 参加児童生徒の交流会 13:30~15:00 ワークショップ II 15:10~15:30 閉会の集い</p>
---	--

児童生徒は午前と午後でひとり2種類のワークショップを体験できました。
 保護者企画では各ワークショップを見学していただきました。



意味を伝える形—2020 オリパラのロゴからデザインしよう—
 講師:半田、平岩



糞フン,なるほど!?うんちの話
 講師:東山動物園



へび博士になろう!
 講師:東山動物園



サルでもあり,ヒトでもある,その正体は?
 講師:東山動物園



サイエンスクッキング
 —白い粉の性質を調べよう—
 講師:矢島、小松、額田(静岡盲)



泥の不思議
 講師:犬塚(岡崎盲)



味噌がミソ?三英傑、強さの秘密!
 講師:岩附(岡崎盲)



巨大電磁石を調べよう
 講師:青柳、児玉(愛教大)

参加した児童生徒の感想、次回やってみみたいことなど

- チンパンジーの暮らし方を初めて知って面白かった。
- 友達ができてうれしかった。
- 骨を触る活動で顔の骨を初めて触った。
 とても大きいものもあれば小さいものもあった。
- 新しい友達ができて良かった。宇宙のことについてもっと知りたい。
- おかしや食べ物をつくってみたい
- へび触るのが緊張したけれど楽しかった。また参加したいです。



骨は語る
 講師:前田政治(名古屋盲)

参加した保護者の感想

- 子どもたちの楽しんでいる姿を見れて良かったです。
 東山動物園の方の話し方がわかりやすく楽しく良かったです。
- 朝は大人しかった子供たちが閉会の時には皆いつも通りの元気さだったので伸び伸びと楽しめていたと思います。
 前回も思ったことですが、多種多様の授業があり、午前と午後の2項目しか受けられないのが勿体ないと感じました。
 運営の難しさがあるとは思いますが、3つ4つ受けられるといいなと思いました。
 触ることで学ぶ機会がこうして得られるのがとてもうれしいです。来年も楽しみにしています。
- 子供同士意見を言ったりする事で子供達の交流にもつながっていいなと思いました。
 ワークショップ別でも集合写真などももらえたら次に会えるのがより楽しくなると思います。
- 実験をする様な内容の物をどの子にも入れてもらいたいです。親子交流会を設けてほしい。